



## ただ老いていく場合ではない。

74歳のヨットマン、8度目の西回り単独無寄港世界一周へチャレンジ

[さいとう・みのる]1934年1月生まれ。幼少時代に結核を患うが、精力的な運動により克服。登山に傾倒した後、39歳よりヨットを始める。レースで数々の輝かしい戦績を残す。2005年にかけて挑戦した東回り単独無寄港世界一周を成功させ、「最高齢（71歳）」として、「シングルハンドによる最多（7回）」という記録を樹立しギネスブックに記録された。 <http://www.saito8.com>

「少年老いやすく学成り難し」と世では言われるが、高齢化社会のこの日本に老いてますます盛んなシルバーエイジもいる。斉藤美さんは、知る人ぞ知る人だ。御年74歳。思わず「おじいちゃん」と呼んでしまうお年頃だが、そこらの若者にはできない冒険を何度もやりのけてきたエクスペローラーだ。

斉藤さんは39歳でヨットを始め、様々なヨットレースに挑戦。65歳を過ぎてからも単独世界一周レースや単独無寄港世界一周などを成功させ、冒険界ではかなりの有名人なのである。

その斉藤さんが9月28日、今度は西回り単独無寄港世界一周の航海という8度目の冒険に挑戦する。西回りは逆風・逆海流という条件により、過酷さが増す航海。8か月もの長きに渡って、愛艇「Nicole BMW 酒吞童子III」をシングルハンドで航行させるという。つまり、どんな困難災難も一人で乗り越えなければいけない、まさに孤軍奮闘の旅なのだ。

冒険は男の夢。斉藤さんのような挑戦はおいそれとはできないけど、日本のシルバーエイジはもっと元気出しましょうよ。